「NO　DRUGS　KYOTO」宣言

最近の薬物乱用の状況を見ると、府内の検挙者数は、ここ数年、２百～３百人台で推移し、また、毎年、未成年者による事犯が確認されています。

さらに、最近では、いわゆる脱法ドラッグの吸引による救急搬送事案や交通事故が全国で発生するなど、憂慮すべき状況が続いています。

未来の京都を担う若者たちが、薬物のために自分や家族の人生を狂わせるようなことが決してあってはなりません。

我々「府民会議」のメンバーは、本日の総会を契機に気持ちを新たにし、府民、特に青少年の薬物乱用ゼロを目指し、オール京都体制で薬物の恐ろしさと乱用防止を広く訴えていくことを、決意するものです。

「ＮＯ ＤＲＵＧＳ ＫＹＯＴＯ」を合言葉として、自分や自分の大切な人を守れるよう、一人ひとりが、「Ｎ０」と言える勇気を持ち、夢や希望、そして笑顔のあふれる明日の「京都」をつくっていきます。

平成２５年１０月２７日

きょうと薬物乱用防止行動府民会議